

天声人语07年8月11日 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/251/2021_2022__E5_A4_A9_E5_A3_B0_E4_BA_BA_E8_c105_251893.htm 仲夏夜之怪谈 夏の夜をしくするのは怪だが、「幽」と「お化け」は似て非なるものらしい。幽は、うらむ相手をねらって出るそうだ。伊右にたたる四谷怪のお岩さんは、そのお仲である。鬼怪故事能让仲夏之夜有丝丝凉意，但是[幽灵]和[妖怪]好像是似是而非的东西。据说，幽灵是视有怨念的人为友而出现的。四古怪谈中被伊右卫门作祟而死的岩，就是幽灵看中的伙伴。お化けは土地や物に（つ）いて、が通りかかっても出る。井で皿を数える皿屋敷のお菊さんは、こちららしい。以上は、江戸にしかかった故郷杉浦日向子さん修のに教えられた。もともと身元のおぼろげな方々ではあるが、言われてみれば、そうかというもする。妖怪附身于土地，物体上，看到有人恰巧路过他就会出来了。皿屋敷中谈到的在井中数容器的菊，就是如此。这些是杉浦日向子先生主编的详细描写江戸风俗的书中所提到的。本来对鬼怪的身世不甚了解的，但从杉浦日向子先生所讲的故事来看，才对此有所知晓。戚（しんせき）筋でもあるまいが、水木しげるさんの漫画「ゲゲゲの鬼太郎」の役に「ぬりかべ」なる妖怪がいる。その元の姿が、江戸のに描かれているのが、先ごろ分かった。夜道をいていると壁にぶつかったようにめなくなる——そんなさをする妖怪だとわる。妖怪是没有亲戚的吧，但是水木先生的漫画[咯咯咯的鬼太郎]中配角就是涂壁妖怪。前阵子才知道，这种妖怪的原始形象，来自于江戸时代所描绘

的画卷。在夜间步行时似乎遇到墙而无法前进-搞这种恶作剧的妖怪相传就是涂壁。水木さんは、巨大な壁に小さな目と足を付けて、とぼけた味わいに描いた。は子の体つきをして、三つ目に牙まである。おどろおどろしい体は、古人がそれだけ怪を恐れたからなのか。水木先生，夸张的描绘了巨大的墙壁上贴附着小眼睛小脚这样一种形象。而江户时代的画卷上则画了三只眼睛直长到獠牙的狮子的形态。这种让人觉得非常恐怖的画风，不禁使人想到莫非古人就是因此而害怕怪异的吗？寂しい夜道は、く感じる。いてもなかなか着かない。その感が「ぬりかべ」の正体なのだろう。わる妖怪の数だけ、古来の暮らしや自然に根ざした「理由」があるようだ。寂静的夜晚，让人觉得路途遥远，不管怎么走也走不到头。这种感觉，应该就是涂壁妖怪的原形了吧。传说中的妖怪的种数，似乎和自古以来的生活以及自然有着根深蒂固的联系。やわらかい感性ゆえか、「妖怪に出会う」なら子ども代だと水木さんは言う。目的を持たず、ぼんやりするのがコツらしい。さて盆休み。田へる子もいるだろう。都会とう草木のそよぎ、夜の深さ。ゲムは置いて、妖怪に出会う夏もくない。水木先生说，是由于通俗的感性认识吧，与妖怪约会之类的是孩童时代的事了。漫无目的，无所事事也是一种窍门。一旦于兰盆节放假，会有孩子回家乡的吧。不同于城市中的深夜，草木轻轻吹拂着。放置一台游戏机，与妖怪约会的仲夏也是不错的啊。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com